

おほとものさかのうへのいらつめ  
大伴坂上郎女の歌一首

五八五番

出でて去なむ 時はあらむを ことさらに  
妻恋しつ つまこひ 立ちて去ぬべしや

おほとものすくねいなぎみ たひらのおほをとめ  
大伴宿禰稻公、田村大嬢に贈る歌一首

五八六番

相見ずは 恋ひざらましを 妹を見て もとなか  
くのみ 恋ひばいかにせむ